

生活クラブ生協 神奈川

法政大学人間環境学部

宍戸 亮介

長富 智大

高梨 正義

発表の流れ

- 生活クラブ神奈川の特徴が分かる4つの取り組みを紹介
- 配達
- デポー
- 生活リハビリクラブ
- エッコロ
- まとめ

配達



○学習目標

- ・消費材の配達の現場を体験し、共同購入運動を理解する。
- ・配達時の拡大マネジメントに触れる。
- ・職員と組合員のコミュニケーションの重要性を知る。



現場で感じたこと

信頼関係

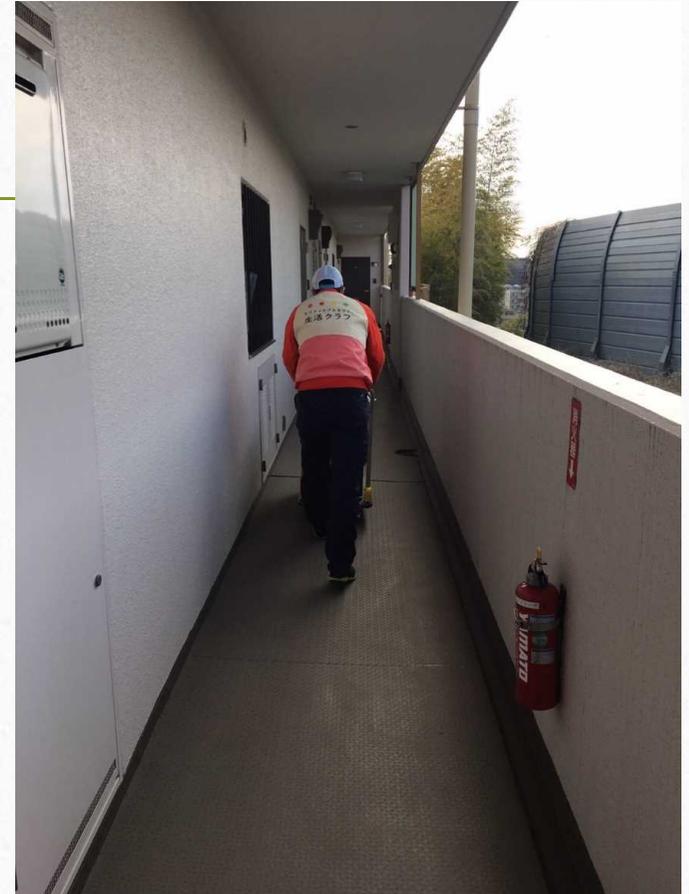
職員の佐藤さん
「組合員に育てられた！」



今後の展望

●地域の横の繋がりが課題

- ・組合員の紹介→加入拡大のチャンス
- ・いろいろな人に関心を持ってもらう
- ・仲間を増やす



今後の展望

●センターの展望

- ・いろいろな人に活かしてほしい
- ・ベクトルを揃えて働く職場作り
- ・意見や思いを互いに言える関係→コミュニケーション
- ・生活クラブを理解してもらえるように同じ思いで働く

→組合員と一緒に作っていく



デポ

○学習目標

- ・生活クラブの施設を見学し、生活クラブ運動の理解を深める。
- ・ワーカーズの業務を知る。



デポ一

○消費材を一点に集めて組合員に分配する

「荷捌き場」としての役割

○各地域の組合員の集まり(班)の声

店として消費材を
共同購入したい！

班が母体となって誕生した店

神奈川のデポ-の特徴

●神奈川が一番多い(東京10、千葉9)神奈川は... **22店舗**
なぜ?

→生活クラブ神奈川は「**参加・自治・分権・公開**」を原則に

県内を5つのエリアに分け、地域生協を形成

→自立した班の声が発

→デポ-の建設運動も活発に

デポーの利用を広げる取り組み

・買物送迎車

○デポー店舗での買い物の送迎 1日3便

→高齢者のデポーの利用を増やす

→組合員同士の繋がりを生む



デポーの利用を広げる取り組み

・くらしてらす

○市が尾デポー2、3階の施設一連の名称

2階:保育園

3階:会議室

屋上:太陽光パネル・蓄電池を設置

くらしてらすの活用

○3階会議室の開放

- ・2019年4月から会議室の貸し出しを開始
- ・文化的交流、合同イベントの開催の場の機能
 - 利用者や生活クラブ組合員の繋がりを生む
 - 生活クラブを知ってもらえる
 - 1階デポの意義も知ってもらえる

現場で感じたこと

- ・一時保育のニーズの高さ
- ・組合員とのコミュニケーション
- ・消費材はとても美味しい



生活クラブ生協の福祉事業 ～生活リハビリクラブ～

●1980年代「たすけあい」からはじまった

→自分たちで 今ない必要なものをつくる

→自分たちで助け合う：ワーカーズ・コレクティブのメンバーがスタッフ

●既存の介護サービスと異なる：生活をリハビリする

→一人ひとりの個性を大切にし、

生活の中の動作ひとつひとつをリハビリ



生活リハビリクラブの思い

●生活クラブの理念に沿った思い

→自らが老いたときに受けたいサービスを作りたい

→サービスの充実をめざす

○生活者の目線を大切に

→地域に暮らすW.Coメンバーが地域の課題に取り組み、貢献している

生活リハビリクラブ鴨居

Q,「なぜ生活リハビリクラブを選んだ？」

A,「自分たちができることはさせてくれる」

「職員と他の利用者との交流が楽しい」

利用者にとってかけがえのない居場所

たすけあいのしくみ心豊かな地域社会に ～エッコロ共済制度～

●神奈川の**エッコロ共済制度**:1986年スタート

▶活動保障・共同購入保障・生活保障

→より安心して組合員活動を行うことが可能

豊かな地域社会の実現につながる

組合員同士が「**お金では買えない価値**」を互いに交換し合う、
助け合いの基盤となる共済

神奈川のたすけあいのしくみ ～エッコロプラス～

●エッコロ共済(生活保障)の**新たなしくみ**:2016年スタート

・「利用する人」「サポートする人」「しくみに賛同する人」が**任意**で加入

→より細かい困りごとを抱える組合員対象に寄り添う仕組み

エコロプラスの利用申請事例

●子育てサポート

→小さいお子さんを育てるおかあさん向け
複数日程の依頼に対しても、継続的サポート



「困ったときはお互い様」の気持ち

エコロの活動を通して...

●エコロ共済、エコロプラス

→新たに組合員同士が知り合う、居場所としても機能

→組合員の持っている主体性を促すきっかけに

○主体性を持った組合員の新たな気づきが

→地域の課題解決の可能性が広がる

まとめ

デポー

リハビリクラブ

配達

エッコロプラス

組合員の声 生活クラブの仕組み

まとめ

- 生活クラブ神奈川の組織体制



それぞれの地域の
助け合いの意識が強い

まとめ

- 助け合いの意識＝自治の意識が強い

→生活に欲しい独自の取り組みを多く実践している



生活者が人間らしい生活を送ることができる

生活クラブ神奈川

地域生協の形成によって主体的な組合員が多く、
その組合員の声を多く汲み取り、
自分たちで積極的な問題解決ができる生協



ご清聴ありがとうございました!

